

会報 エコネットはんのう

編集・発行 / はんのう市民環境会議

専門部会活動報告（11月～2月）

地球環境部会

植林体験（聖望学園、駿河台大学合同）

日時：11月22（水） 12月1日（金）

場所：聖望の森・駿大の森（名栗げんきプラザ近くの市有林）

今年度から始めた「苗づくりプロジェクト」の一環として、聖望、駿大の学生たちと一緒に植林体験をしました。植林場所は、以前から聖望学園の生徒や駿河台大学の学生、両校関係者等が草刈など行い整備を進めていた「聖望の森」、「駿大の森」です。

山なのであたりまえですが、傾斜地での作業となるため足場を気にしたり、土砂が下へ転げ落ちないように配慮したりするため、一本植樹するにも意外と時間がかかりました。林業家にいわせると、この場所はとてもゆるやかな山なんだそうです。



南斜面で日当たり良好



苗木を渡され、いざ植林

作業は、まず苗木や鍬(クワ)を持ち、植林場所まで登ります。途中まで階段状に木道ができており、登りやすいようになってはいますが、頂上付近まで行くにはハーハー息切れがしてしまいます。そして、目印がある場所に直径30cm、深さ30～40cm位の穴を掘り苗木を植えます。足場が悪い所で、掘った土や小石が下へ転がらないよう気を使いながら土を埋め戻します。苗木の周りを足で軽く踏み固め、最後に苗木の横に支柱を差しシュロ縄で結んで1本の植林が終了となります。

この山には、2日間でヤマザクラやツバキ、ヤマグリ、ブナ、イタヤカエデなど10種類890本が植林されました。

実施日が平日ということもあり、会員の参加者は10人足らずでしたが、とても達成感の得られる事業でした。

見晴らしもよく気分爽快！



自然環境部会

11月12日(日) 自然観察会「クマタカがみられるかも?」の巻 参加者 8名
路線バスで名栗へ行き、バードウォッチングをしながら名栗の山を散策しました。

クマタカは、山地の森林に留鳥として生息し、森林生態系の頂点に位置しており「森の王者」とも呼ばれています。個体数が少なく、また観察することが難しいため生態はあまり明らかにされていません。残念ながらタイトルのクマタカは見られませんでした。オオタカを見ることができました(クマタカの生息は確認されています)。ちなみに、オオタカはクマタカより小さく中型の種ですが、飛んでいる小鳥などを捕獲する優れたハンターです。

11月26日(日) 講演会「名栗の山名、地名考」 講師 谷有二氏 場所 郷土館
飯能の奥山 名栗を学ぶ講演会として、谷 有二氏を講師にお招きし、「タタラの頭」や「逆川」、「浜居場」など興味をひく地名について、その由来などお話しいただきました。当日は、学習室満席の50名が集まり、大変好評でした。



3部会合同会議

11月25日(土) 富士見公民館和室 参加者 17名

- ・天覧山周辺の里山の保全について【どのように事業を進めるか、たたき台があった方が検討しやすい、整備後の利用のルール作りが必要等の意見が出された。】
- ・桜の森計画について ・環境マップづくりについて
- ・一学一山運動について 早大が森林保全を目的とした各大学への呼びかけ運動
- ・11月22日に実施した植林体験実施報告及び12月の植林体験紹介
- ・生活環境部会の活動方針について【学校を巻き込んだ子ども達に対する環境啓発活動、清掃活動等を中心に取り組んでいきたい。】

1月27日(土) 富士見公民館和室 参加者 17名

- ・天覧山周辺の里山の保全について【事業計画、予算等の検討、作業環境(トイレ等)の整備、他自治体の状況を参考にすべきなどの意見が出された。市民ぐるみの事業、環境学習の一環として一小、西中等に事業説明をしたことが報告された。】
- ・森林文化都市宣言推進事業について 10月にウォーキング等を予定
- ・苗づくりプロジェクト 2年目の計画について、年内の活動計画作りについての意見交換、ほ場候補説明(候補地として、駿河台大学敷地内、美杉台地区、南高麗地区) プロジェクトを森林文化都市宣言推進事業に位置付け実施。

2月24日(土) 富士見公民館和室 参加者 13名

- ・天覧山周辺の里山の保全について【広い土地であるが整備できるのか。急がず整備したい。農地として本会が借り受けるため、農地として保全していく必要がある。他に生物多様性について、植物の保全等について意見がだされた。】
- ・4月実施の自然散策会で、天覧山周辺の谷津田を参加者に見てもらう予定
- ・環境マップづくりについて ツーデーマーチ参加者用に作成する。費用は自然部会に配分された金額内で作成する。
- ・地球環境部会の3月、4月の活動予定計画説明(3/21 森のようちえん敷地整備ほか)
- ・生活環境部会の活動予定説明(3月18日 市街地清掃活動の実施)

お知らせ 4月より事務局(環境緑水課)は、新庁舎別館2階へ移転します。内線番号、ファクスが変更となりますので、4月以降のご来庁、お問い合わせの際はご注意ください。

全体事業

エコライフDAY2006 統一実施日：12月3日（日）

対象：会員（個人、事業所、団体）市立小学校5年生、市立中学校2年生

第2回目のエコライフDAYを実施しました。今回から、小、中学校の児童、生徒さんにも参加していただき、昨年に比べ2倍以上の参加者数となりました。

小、中学生の参加者の感想では、日頃の生活の中で、ちょっと気をつけるだけで温暖化の防止ができることを初めて知った、驚いたという意見が多く、一方で、いつもどおりのことをしただけという意見もあり、各家庭での家族の意識により、取り組んだ感想も様々でした。

エコライフDAY事業に取り組んでいただいた児童、生徒達が、省エネ等環境活動への関心を持つきっかけとなってくれたらと思います。

気候の安定化に向けて直ちに行動を！ — 科学者からの国民への緊急メッセージ —

本年2月2日、地球温暖化に関する世界の研究者達でつくる『気候変動に関する政府間パネル（ICPP）』が、科学的根拠について最新の知見を取りまとめた第4次報告書が採択されました。

その内容は、きわめて重要かつ深刻な内容となっており、科学者から国民へ向けて直ちに行動することを呼びかける、緊急メッセージが出されました。

概要を下記にご紹介します。

国民のみなさまへ

気候が急激に変化している。この気候変化が人為的温室効果ガス排出によるものであることは、科学的に疑う余地がない。このままの排出が続けば、人類の生存基盤である地球環境に多大な影響を与えることも明白である。

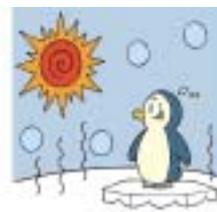
これまで、科学者達は強い懸念を示し呼びかけを行ってきた。しかし、温暖化の検証プロセスには様々な知見を要するため、その間に気候変動は進行し、近年顕在化した。報告書では、気候変化における人為的確認が再確認され、雪氷圏における変化は予想以上に進行することが確認された。このままだと、人類が経験したことのない温暖化時代に入ります。限りある自然の吸収力を勘案すると、温室効果ガス排出を大幅に削減しない限り気候は安定化しない。

気候変動による悪影響が危険レベルを超えないうち、温室効果ガスの削減を直ちに開始せねばならない。科学の結果を直視し、気候の安定化に向けて国民が一体となって行動し、世界が共に行動を開始する事をより強く呼びかけていくべき時がきている。この事を、気候変化を研究する科学者として強く訴えたい。

ICPP 第4次評価報告書 第1作業部会報告書に基づく主要な科学的な認識

- ・ 加速する温暖化と顕在化する影響
 - ・ 人為的影響の明白化
 - ・ 排出の継続は危機的な状況を生む
- 人類と地球の共存
子ども達の未来を守るため、今こそ行動の時

詳細は、環境省ホームページをご覧ください。



3月の活動予定

専門部会や関係団体の3月の予定をご案内しますので、皆さんご参加ください。申込みが必要な会議などは、資料作成の都合等がありますので、ご面倒ですが事務局までご連絡をお願いいたします。

《 専門部会活動予定 》

8日(木) 自然環境部会・マップづくり実行委員会

時間：午後7時～午後9時（要申込み、3月7日までに浅野部会長へ）
場所：未定（参加人数により決定。参加者には後日ご連絡します）
内容：市内環境マップの下図づくり
その他：今回は間に合わなくても、今後も実行委員会を開きますので、参加希望の方は浅野部会長又は事務局までご連絡ください。イラスト画等得意な方大歓迎！

18日(日) 生活環境部会・まちなか清掃活動

時間：午前9時（集合）～午前11時頃（解散） 雨天中止
場所：市民会館と郷土館の間の駐車場に集合し、市民会館周辺の市街地清掃
持ち物：軍手、タオルなど。動きやすい服装で。
その他：申込みは、3月14日までに事務局（環境緑水課）へ

21日(水・春分の日) 地球環境部会

事業名：市役所子ども家庭課主催「森のようちえん、森づくり事業」
時間：午前9時30分（集合）～午前11時30分（解散） 雨天時は美杉台公民館へ
場所：美杉台公園東側緑地（大鵬薬品工業の北側） 費用：100円（保険料）
内容：散策路づくり、木の名札つけ等野外作業のほか、森についての話し合い
その他：内容、申込み等詳細は19日までに市役所子ども家庭課（内線128）まで

とん汁が食べられます！

31日(土) 自然環境部会・地球環境部会・生活環境部会合同会議

時間：午後7時～9時（要申込み、3月28日までに環境緑水課へ）
場所：富士見公民館 2階和室（住所：双柳1-16【市役所北側】）
内容：自然部会...天覧入り谷津田保全計画について、環境マップづくりについて
地球部会...森のようちえん森林整備活動報告、苗づくり活動の予定について
生活部会...まちなか清掃活動実施報告、今後の活動について
申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

《 関係団体等のイベント情報 》

24日(土) NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会主催・てんた里山文化の集い

時間等：午前10時30分（開場）～午後3時30分（閉会） どの時間でも入場可
会場：市民会館小ホール 内容：NPO法人発足式、講演会、音楽ライブ ほか
その他：入場無料 内容等詳細は、代表 浅野さん 042-974-1691 まで

27日(火) 飯能市環境衛生推進協議会主催・健康教室（講演会）

時間等：午後1時30分～午後2時30分 会場：総合福祉センター3階大会議室
内容：「健康で快適な居住環境づくり」～衛生害虫について～ 講師：浦辺研一氏
その他：入場無料、要申込み 内容等詳細は、広報はんのう3月1日号又は環境緑水課まで

編集後記：昨年12月、皆さんにご協力頂きました「エコライフ DAY2006」の実施結果は、添付報告書のとおり、市民の約5%に相当する4,126名の皆様に参加いただきました。

今回は市内の小学5年生、中学2年生の児童・生徒とご家族にも参加して頂きました。僅か一日ですが家族で環境について相談し、意識して行動するキッカケになったと思います。参加された皆さんから「環境意識の高揚」に有効であるとの感想を多数頂きました。

また、常日頃から「お母さんはすごい！」と思っている子供達が沢山いることが分かりました。チェックシートから推察しても、お母さんのエコ意識の高さが際だっており「エコロジー」は「エコノミー」を实践されている様子を、うかがい知ることができました。これからも、身近な環境学習のテーマとして、定着して頂ければと願っております。

いま上映中のドキュメンタリー映画『不都合な真実』は、地球温暖化問題について考える話題作ですが、この中で「私にできる10の事」という約束事があります。そのひとつに「環境危機についてもっと学びましょう、そして行動に移しましょう。子供たちは地球をこわさないで、と両親に言いましょう」というのがあります。

皆さんは子供たちと、どんな約束ができるでしょうか。（広報委員長：伊藤知夫）

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境部環境緑水課

住所：〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電話：042-973-2111 内線232 FAX：042-974-6770

